



2013年2月15日

銚子市立病院への財政支援と病院存続を求める請願書

住 所 銚子市陣屋町3の32 (事務所)  
団体名 銚子市立病院の存続を願う会

代 表 加瀬博一 印

住 所 銚子市飯沼町5の2

副代表 荒井 降作 印

同 大川 泰男 印

同 高根 武 印

同 長谷川眞吾 印

紹介議員 加瀬竹二 印

銚子市議会議長

秋元賢二様

【請願事項】

銚子市において、銚子市立病院に財政支援をし、病院の存続をしていただきたい。

【請願理由】

銚子市議会は平成24年9月定例議会、及び10月臨時議会で2度病院会計事業の補正予算を否決されました。このことは現在市立病院に勤務する医師や看護師の士気を萎えさせ、銚子勤務を検討中の医師の決断を惑わす一因にもな

っていると聞き及んでおります。さらに銚子市民にとって不幸なことは、この頃から旭中央病院や鹿島労災病院等々、旧市立総合病院廃止以降銚子市民が何かと言えば頼りにしてきた地域の中核的な公立病院でさえ急激な医師数減・経営問題に苦慮する事態が重なってきたことです。

11月初旬、銚子市立病院が異例の記者会見及び新聞折り込みをして市民に訴えた『報告書』の最終的な結論は、「銚子市立病院を守るのは、銚子市民の皆様です。」でした。私たちは雷に打たれた心地でした。同じ思いの市民で話し合い、11月中旬から署名運動を開始し、短い期間でしたが、大勢の市民の皆様から重い署名をいただきました。銚子市議会におかれましては、銚子市民が命を守る最後の拠り所とする銚子市立病院の存続のため、財政支援をはじめ最善の策をお取りいただきたく、ここに13,811名の署名を添えてお願いするものです。